

# 利根川の豊かな水を運んで40年

## 北総台地を潤す成田用水・北総東部用水

### ●成田用水

#### 成田用水事業の誕生から現在

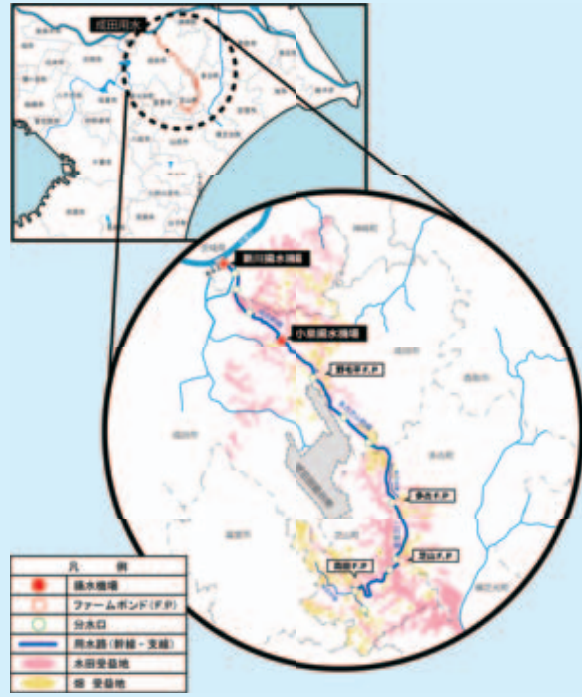
成田市街から主要道路を車で走ると、谷津田といわれるのどかな水田が現れます。この水田を潤す大動脈として役目を果たしているのが成田用水です。この一帯は、古くは「石なく、山なく、水もなし」といわれ、目の前の利根川の水を大地に引くことが、地域農家の長年の夢でした。

成田用水事業は、昭和四十一年七月に新東京国際空港（現・成田国際空港）建設が閣議決定された際、空港周辺対策事業の一環としてかんがい施設を新設し、

農家収入の増大をねらう事業として計画されました。

建設当時には新空港建設の関連事業と捉えられたため、事業の推進は困難を極めました。用水を求める農家の方々の声に応えるべく、関係者とともに事業を進めていきました。

昭和五十六年に成田用水が完成し、成田国際空港周辺地域一市三町（成田市、多古町、芝山町、横芝光町）の約三、三〇〇haに、利根川水系鬼怒川に建設された川治ダムを水源として最大三、二五m/sを供給しています。



利根川の水は利根川河口から上流58km地点にある新川揚水機場\*でくみ上げられ、幹線水路や途中にある小泉揚水機場を経由して水田や畑に送られています。

\*揚水機場：河川などからポンプを使用して水を汲み上げ、水路を通じて農地等へ用水を送る施設

天水（天から降った水・雨水）に頼っていた谷津田や畑に成田用水を介して利根川から水が運ばれ、この地域の営農は大きく変わりました。関連事業による効果と相まって、水稲、にんじん、トマト、花卉類など、各市町で多くの特産農作物が作られており、成田用水受益地域は千葉県内でも有数の農業地帯へ成長しています。

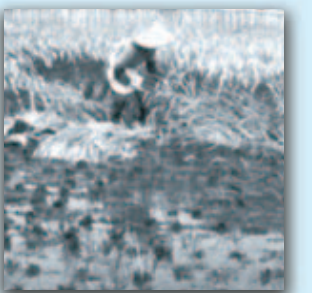
今年で成田用水は通水開始から四十年を迎えました。東日本大震災による被災もありましたが、通水開始から約七億立方メートルもの用水を安定的に供給することができました。

令和元年八月より老朽化が進行している施設の改修と耐震性能が不足している施設の大規模地震対策を行うため、成田用水施設改築事業を実施しています。

この事業により、農業用水の安定供給、農業施設の維持管理の費用と労力の軽減が図られ、農業生産性の維持・向上及び農業経営の安定に資することが期待されます。

先人達が多大な苦難を乗り越え事業を進め、建設した大切な成田用水を、次世代に確実に引き継ぎ、安定して水を届け、地域農業の振興に寄与できるよう取り組んでいきます。

事業着手前



干害を恐れ、常に湛水された強湿田における稲刈り作業。

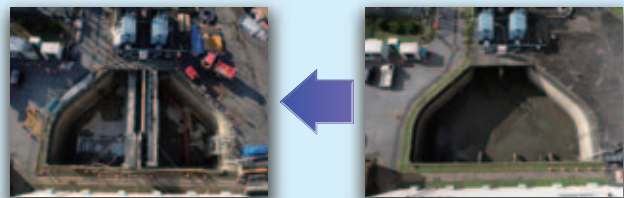
事業着手後



農道整備及び乾田化により大型農業機械の導入が可能となりました。

【成田用水施設改築事業の実施状況】

新川揚水機場吸水槽の分画化



吸水槽を半分の水槽で通水できるよう分画化しました。これにより、ポンプ運転時も半分の水槽は空にできるため、常に水没している施設のメンテナンス作業が容易、確実となりました。

\*吸水槽：ポンプ運転時に空気を吸い込まないように水位を高く留める水槽

### 成田用水通水40周年記念式典

#### 成田用水施設改築事業経過報告

成田用水は昭和五十六年四月から管理を開始し、今年、通水四十年の節目の年を迎えたことから、令和三年十一月九日に関係者約五十名をお招きし、「成田用水通水四十周年記念式典」を開催しました。

式典では、現在実施している成田用水施設改築事業の実施状況の経過を関係者の皆様にご報告し、成田用水施設の必要性や重要性をご理解いただくとともに、ご出席いただいた来賓の方々から、適切な施設管理により地域の農業を下支えしてきた実績に対し感謝のお言葉をいただきました。



熊谷千葉県知事による祝辞



金尾理事長による主催者挨拶



### ●北総東部用水

成田用水と同じく、千葉県の北総台地に農業用水を供給する北総東部用水も通水開始から四十年を迎えました。

当初、北総東部用水と成田用水は一つの事業として昭和三十年代後半から当時の農林省によって計画策定が行われていましたが、新空港建設に伴って成田用水は別事業となりました。

その後、平成十三年からは国営北総中央用水地区への用水供給も開始しており、早内を代表する穀倉・畑作地帯となった北総台地の水を支える事業として、その役割はますます重要なものとなっております。



利根川の水は利根川河口堰から38km地点で取水され、船戸・返田・九十九塚機場の直結三段揚水システムによって約40mくみ上げられ、台地上の受益地へ送られています。



昭和五十六年の通水開始から四十年間の累計通水量は約六億立方メートルに達しています。現在、施設の老朽化と大規模地震対策のための改築事業の計画検討が進められています。

今年十月二十八日には、北総東部土地改良区設立五十周年の功労者表彰式に合わせ、機構からもこれまで用水供給に貢献してきた改良区配水操作員の皆さまへ感謝状をお渡ししました（写真参照）。

これからも北総地域の農業の発展に貢献できるよう、安定した通水と施設の保全に努めてまいります。